

第二十六回 帝國議會 貴族院議事速記錄第十七號

明治四十三年三月十九日(土曜日)

午前十時五分開議

議事日程 第十七號 明治四十三年三月十九日

午前十時開議

第一 關稅定率法改正法律案兩院協議委員ノ選舉

第二 明治四十三年度歲入歲出總豫算追加案(第二號) 審查期限ヲ定ムルノ件

第三 明治四十三年度各特別會計歲入歲出豫算追加案(特第一號) 審查期限ヲ定ムルノ件

第四 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第二號) 審查期限ヲ定ムルノ件

第五 明治四十二年度歲入歲出總豫算追加案(第三號) 審查期限ヲ定ムルノ件

第六 明治四十三年度歲入歲出總豫算追加案(第三號) 審查期限ヲ定ムルノ件

第七 明治四十三年度特別會計歲入歲出豫算追加案(特第二號) 審查期限ヲ定ムルノ件

第八 外國人ノ土地所有權ニ關スル法律案(政府提出案) 第一讀會

第九 鐵道營業法中改正法律案(政府提出案) 第一讀會

第十 營業稅法中改正法律案(政府提出案) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十一 災害地地租特別處分法案(政府提出案) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十二 明治四十一年法律第三十七號中改正法律案(政府提出案) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十三 罹災救助基金法中改正法律案(政府提出案) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十四 東京市區改正條例中改正法律案(政府提出案) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十五 製鹽地整理ニ關スル法律案(政府提出案) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十六 漁業法改正法律案(政府提出案) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十七 銃砲火藥類取締法改正法律案(政府提出案) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十八 戰疫豫防法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會

第十九 軍人恩給法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會

第二十 官吏恩給法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會

第二十一 裁判所構成法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會

第二十二 辯護士法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

昨十八日本院ニ於テ修正議決シタル政府提出關稅定率法改正法律案ハ即日之ヲ衆議院ニ回付セリ

同日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

耕地整理法中改正法律案
北海道土功組合法中改正法律案
警部補退隱料及遺族扶助料等ニ關スル法律案
輕便鐵道法案

同日本院ニ於テ可決シタル政府提出皇族ヨリ臣籍ニ入りタル者及婚嫁ニ因リ臣籍ヨリ出テ皇族ト爲リタル者ノ戶籍ニ關スル法律案ハ即日之ヲ衆議院ニ送付セリ

同日本院ニ於テ可決シタル各國國勢調查事業視察ニ關スル建議ハ文書ヲ以テ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

同日衆議院ヨリ本院ノ回付ニ係ル政府提出關稅定率法改正法律案ハ本院ノ修正ニ同意セサルコトヲ議決シタルニ因リ兩院協議會ヲ開クコトヲ請求スル旨ノ通牒ヲ受領セリ

同日衆議院ヨリ關稅定率法改正法律案協議委員ノ數ヲ十名ト爲スコトニ決シタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

同日議員伯爵徳川達孝君外八名ヨリ百十八名ノ贊成ヲ以テ教員ノ待遇ニ關

スル建議案ヲ發議セリ

同日各特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

東洋拓殖株式會社法中改正法律案特別委員會

委員長 伯爵正親町實正君 副委員長 子爵水野 直君

會計檢査院法中改正法律案特別委員會

委員長 子爵實吉 安純君 副委員長 子爵松平 忠禎君

明治三十七八年戰役ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律案特別委員會

委員長 伯爵中川 久任君 副委員長 室田 義文君

日本勸業銀行法中改正法律案外二件特別委員會

委員長 子爵三島 彌太郎君 副委員長 伯爵寺島 誠一郎君

同日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

漁業法改正法律案可決報告書

營業稅法中改正法律案可決報告書

災害地租特別處分法案可決報告書

銃砲火藥類取締法改正法律案可決報告書

同日特別委員副委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

日本勸業銀行法中改正法律案可決報告書

農工銀行法中改正法律案可決報告書

北海道拓殖銀行法中改正法律案可決報告書

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

外國人ノ土地所有權ニ關スル法律案

鐵道營業法中改正法律案

明治四十三年度歲入歲出總豫算追加案(第二號)

明治四十三年度各特別會計歲入歲出豫算追加案(特第一號)

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第三號)

明治四十二年度歲入歲出總豫算追加案(第三號)

明治四十三年度歲入歲出總豫算追加案(第二號)

明治四十四年度特別會計歲入歲出豫算追加案(特第二號)

同日衆議院ヨリ政府提出間島ニ於ケル領事官ノ裁判ニ關スル法律案ハ本院

ノ議決ニ同意シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス

○伯爵正親町實正君 是ヨリ東洋拓殖株式會社法中改正法律案ノ特別委員會

ヲ開キタウゴザイマスガ、退場イタシテ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵德川家達君) 正親町伯爵ノ特別委員會ヘノ退席ノ要求ハ許可ヲ

致シテ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第一、關稅定率法改正法律案兩院協議委員

ノ選舉、此選舉ハ如何ナル方法ヲ以テ致スノデゴザイマスカ、諸君ニ御諮

リヲ致シマス

○子爵曾我祐准君 本員ハドウカ議長ノ選任ニナラムコトヲ希望シマス

○伯爵大原重朝君 贊成

○男爵高木兼寛君 贊成

○男爵石黑忠恵君 贊成

○千坂高雅君 贊成

○下條正雄君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 曾我子爵ノ發議デ、兩院協議委員ノ選舉ハ議長ニ

一任スル、ソレデ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、直チニ協議委員ノ氏名ヲ

書記官長ヲシテ朗讀イタサセマス

〔太田書記官長朗讀〕

關稅定率法改正法律案兩院協議委員

侯爵黑田 長成君 伯爵松本 宗隆君 子爵曾我 祐准君

子爵三島 彌太郎君 男爵小澤 武雄君 男爵高木 兼寛君

男爵田 健治郎君 男爵目賀田種太郎君 男爵吉川 重吉君

鎌田 榮吉君

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第二、明治四十三年度歲入歲出總豫算追

加案

加案

加案(第二號)、第三、明治四十三年度各特別會計歲入歲出豫算追加案(特第一號)、第四、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第三號)、第五、明治四十二年度歲入歲出總豫算追加案(第三號)、第六、明治四十三年度歲入歲出總豫算追加案(第三號)、第七、明治四十三年度特別會計歲入歲出豫算追加案(特第二號)審査期限ヲ定ムルノ件

〔左ノ送付文ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス〕

(第二號)明治四十三年度歲入歲出總豫算追加案

右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十三年三月十八日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長 長谷場 純孝

(特第一號)明治四十三年度各特別會計歲入歲出豫算追加案

右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十三年三月十八日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長 長谷場 純孝

(追第三號)豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件
右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十三年三月十八日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長 長谷場 純孝

(第三號)明治四十二年度歲入歲出總豫算追加案
右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十三年三月十八日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長 長谷場 純孝

(第三號)明治四十三年度歲入歲出總豫算追加案

右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十三年三月十八日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長 長谷場 純孝

(特第二號)明治四十三年度特別會計歲入歲出豫算追加案

右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十三年三月十八日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長 長谷場 純孝

○子爵曾我祐準君 唯今朗讀ニナリマシタ議事日程第二ヨリ第七ニ至ル豫算案ニ關スル審査期限ハ、最早餘日モゴザイマセヌ其上ニ、又種々ナ委員會モ澤山アリマシテ、豫算委員諸君モ餘ホド暇ガ無イト考ヘマスニ依ッテ、幾日マデト云フコトヲ決メズ、成ルダケ急ギマシテ審査ノ出來次第報告ヲ致シマス、斯様ナコトニ願ヒタイト思ヒマス、ドウカ諸君ノ御賛成ヲ請ヒマス

○子爵堤功長君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 曾我子爵ヨリ議事日程第二カラ第七マデノ豫算案ノ審査期限ハ審査結了次第ニ報告スルト云フ動議デゴザイマス、此動議ニ對シテ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○下條正雄君 是ヨリ登録稅法中改正法律案ノ特別委員會ヲ開キタイト思ヒマスガ、退席イタシテ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵徳川家達君) 登録稅法中改正法律案ノ特別委員會ヘ退席ノ要求デアリマス、此下條君ノ要求ヲ容レテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○三宅秀君 本員ハ行政執行法中改正法律案ノ特別委員會ヲ開キタイト思ヒマスカラ、退席ノ許可ヲ請ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 三宅君ノ行政執行法中改正法律案ノ特別委員會ニ退席ノ要求ハ、許可イタシテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第八、外國人ノ土地所有權ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

〔東久世書記官朗讀〕

外國人ノ土地所有權ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十三年三月十八日

衆議院議長 長谷場 純孝

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

〔小字ハ衆議院ノ修正、ハ同削除ノ符號〕

外國人ノ土地所有權ニ關スル法律案

日本ニ住所有ハ居所有スル外國人又ハ日本ニ於テ登記ヲ受ケタル外國法人。

第一條 外國人ハ其ノ本國ニ於テ帝國ノ臣民又ハ法人カ土地ノ所有權ヲ

享有スル場合ニ限り土地ノ所有權ヲ享有ス 但シ外國法人カ土地ノ所有權ヲ取得セ

ムトストキハ内務大臣ノ許可ヲ受ケルコトヲ要ス

○及外國法人ニノミ

前項ノ規定ハ勅令ヲ以テ指定シタル國ニ屬スル外國人ニ之ヲ適用ス

○又ハ外國法人

第二條 外國人ハ左ノ地域ニ於テ土地ノ所有權ヲ享有スルコトヲ得ス

一 北海道

二 臺灣

三 樺太

四 國防上必要ナル地域

前項第四號ノ地域ハ勅令ヲ以テ之ヲ指定ス

○又ハ外國法人

第三條 土地ヲ所有スル外國人カ土地ノ所有權ヲ享有スルコトヲ得サル

ニ至リタル場合ニ於テ一年内ニ之ヲ讓渡ササルトキハ其ノ所有權ハ國庫

ニ歸屬ス但シ前條第二項ノ規定ニ依リ國防上必要ナル地域ニ指定セラレタル爲所有權國庫ニ歸屬スル場合ニ於テハ其ノ損失ヲ補償ス

外國人カ日本ニ住所有ハ居所有セス又ハ外國法人カ日本ニ營業所有ハ事務所有セサル爲土地ノ所有權ヲ享有スルコトヲ得サルニ至リタル場合ニ於テハ前項ノ期間ハ之ヲ五年トス

外國人又ハ外國法人ノ所有スル土地カ前條第二項ノ規定ニ依リ國防上必要ナル地域ニ指定セラレタル爲所有權國庫ニ歸屬スル場合ニ於テハ其ノ損失ヲ補償ス

前項ノ補償金額ニ付協議調ハサルトキハ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得

附則

第四條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五條 明治六年第十八號布告ハ之ヲ廢止ス

○又ハ外國法人

第六條 本法施行ノ際臺灣ニ於テ外國人カ現ニ所有スル土地ニ付テハ本法ヲ適用セス但シ其ノ土地ノ所有權カ帝國ノ臣民又ハ法人ニ歸屬シタル

後ハ此ノ限ニ在ラス

第七條 明治三十二年法律第六十七號中「土地ノ抵當權者ナル外國人カ」ノ

下ニ「土地ノ所有權ヲ享有スルコトヲ得サル場合ニ於テ該外國人カ」ヲ加フ

第八條 民法第九百九十九條及明治三十二年法律第九十四號中「日本人ニ非

サレハ享有スルコトヲ得サル權利ヲ有スル場合」ヲ「國籍ノ喪失ニ因リテ其有スル權利ヲ享有スルコトヲ得サルニ至リタル場合」ニ改メ「日本

人ニ」ヲ削ル

〔國務大臣伯爵小村壽太郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(伯爵小村壽太郎君) 今回議會ニ提出ニナリマシタル外國人ノ土地所有權ニ關スル法案ニ付キマシテ簡單ニ其提出ノ理由ヲ陳述イタシマス、

御承知ノ如ク現行ノ法令ニ依リマスルト、外國人ハ帝國内ニ於テ土地所有權ノ享有ヲ許サヌコトニナツテ居リマスルガ、我が國運ノ隆盛ニ趨クト共ニ國

民ノ實力、竝ニ自信ハ著シク増大イタシマシテ、最早外國人ニ土地所有權ノ享有ヲ許シマシテモ差支ナイト云フコトニ至リマシタカラ、國防ノタメ必要

ナル地、竝ニ北海道臺灣及樺太ノ如キ土地開發ノ目的ヲ達スルタメ特ニ外人

ニ土地ノ所有權ヲ許シテ不利益ト致シマスル地方ヲ除キマシテハ、外國人ニ

土地ノ所有權ヲ享有セシムルヲ適當ト認メテ居リマス、加フルニ現今文明諸國ニ於キマシテハ御承知ノ通り一般ニ外國人ニ土地所有權ヲ付與シテ居リマシテ、各國何レモ無條件ニ、又ハ一定ノ制限ヲ付シマシテ、土地所有權ヲ外國人ニ許シテ居リマス、今回現行條約ヲ改正イタシマシテ對等ノ基礎ニ依リ新條約ヲ締結セムトスルニ當リマシテハ、我ニ於テモ帝國ノタメ特ニ不利益ノ結果ヲ來タサル限リ、文明諸國ノ普通ノ例ニ倣ヒマシテ、外國人ニ土地所有權ヲ付與スルコトヲ適當ト認メタ次第デゴザイマス、依ッテ政府ハ相互主義ニ依リマシテ本邦人ニ土地所有權ヲ許シテ居リマスル諸國ノ人民ニ對シテ、我ニ於テモ同ジク土地所有權ヲ許スコトヲ適當ト認メマシテ、今回此法律案ヲ提出イタシマシテ諸君ノ御協賛ヲ請フニ至リタル次第デゴザイマス、衆議院ハ政府ノ提出案ニ修正ヲ加ヘマシタガ、政府ニ於キマシテハ此修正ニ對シテ同意ヲ表シテ居リマス、本案ハ我が經濟上、竝ニ社會上、重大ナル問題デアルト同時ニ、條約改正ノ事業ト重要ノ關係ヲ有シテ居ル事項デゴザイマスカラ、慎重御審議ノ上、速ニ御協賛アラムコトヲ希望イタシマス

○淺田德則君 本員ハ本案ノ特別委員ノ數ニ付キマシテ動議ヲ提出イタシマス、本案ハ極メテ重大ナル案デゴザイマスカラ、十八名ノ特別委員ヲ議長ニ於テ御選定ニナルコトヲ望ミマス

○男爵石黒忠惠君 唯今ノ淺田君ノ動議ニ賛成イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 淺田君ノ特別委員ノ數ヲ十八名トスル說ニ對シテ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、直チニ其氏名ヲ書記官長ヲシテ朗讀イタサセマス

〔太田書記官朗讀〕

外國人ノ土地所有權ニ關スル法律案特別委員

- | | | |
|----------|---------|----------|
| 伯爵寺島誠一郎君 | 子爵入江爲守君 | 子爵前田利定君 |
| 子爵松平親信君 | 男爵船越衛君 | 男爵茨木惟昭君 |
| 男爵石黒忠惠君 | 男爵久保田讓君 | 男爵波多野敬直君 |
| 男爵中島久万吉君 | 谷森眞男君 | 古市公威君 |
| 富井政章君 | 石渡敏一君 | 菊池武夫君 |
| 高木豐三君 | 室田義文君 | 桑田熊藏君 |

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第九、鐵道營業法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

〔東久世書記官朗讀〕

鐵道營業法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十三年三月十八日

衆議院議長 長谷場純孝

貴族院議長公爵徳川家達殿

鐵道營業法中改正法律案

鐵道營業法中左ノ通改正ス

第十三條ノ二 荷受人及荷送人ヲ確知スルコト能ハサル運送品ハ主務大臣ノ定ムル所ニ依リ公告ヲ爲シタル後六月内ニ其ノ權利者ヲ知ル能ハサル場合ニ於テハ鐵道其ノ所有權ヲ取得ス託送手荷物及一時預リ品ニ付亦同シ

第十八條第三項ニ「乗車等級不明ナルトキハ其ノ列車ノ最優等級ニ依リ運賃ヲ計算ス」ヲ加フ

第二十四條、第三十三條及第三十九條中「二十五圓以下ノ罰金」ヲ「三十圓以下ノ罰金又ハ科料」ニ改ム

第二十五條中「五百圓以下ノ罰金又ハ三月以下ノ重禁錮」ヲ「三月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金」ニ改ム

第二十六條及第二十八條中「二十圓以下ノ罰金」ヲ「三十圓以下ノ罰金又ハ科料」ニ改ム

第二十七條中「三年以下ノ重禁錮ニ處シ五百圓以下ノ罰金ヲ附加ス」ヲ「三年以下ノ懲役ニ處ス」ニ改ム

第二十九條中「運賃ヲ免ルルノ目的ヲ以テ」ヲ「鐵道係員ノ許諾ヲ受ケスシテ」ニ、「罰金」ヲ「罰金又ハ科料」ニ改ム

第三十條中「三月以下ノ重禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金」ヲ「三月以下ノ懲

〔小字ハ衆議院ノ修正ハ同削除ノ符號〕

役又ハ五百圓以下ノ罰金」ニ改ム

第三十條ノ二 前二條ノ所爲ハ鐵道ノ告訴ヲ待テ其ノ罪ヲ論ス

第三十一條、第三十二條及第四十一條中「罰金」ヲ「罰金又ハ科料」ニ改ム

第三十四條中「科料」ヲ「十圓以下ノ科料」ニ改ム

第三十五條 鐵道係員ノ許諾ヲ受ケスシテ車内、停車場其ノ他鐵道地内ニ於テ旅客又ハ公衆ニ對シ寄附ヲ請ヒ、物品ノ購買ヲ求メ、物品ヲ配付シ

其ノ他演說勸誘等ノ所爲ヲ爲シタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

第三十六條第一項中「燈火ヲ滅シタル者ハ五十圓以下ノ罰金」ヲ「燈火ヲ滅シ又ハ其ノ用ヲ失ハシメタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料」ニ、第二項中「三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス」ヲ「三年以下ノ懲役ニ處ス」ニ改ム

第三十七條中「科料」ヲ「十圓以下ノ科料」ニ改ム

第三十八條中「重禁錮ニ處シ百圓以下ノ罰金ヲ附加ス」ヲ「懲役ニ處ス」ニ改ム

第四十條中「十圓以下ノ罰金」ヲ「科料」ニ改ム

第四十三條中「輕罪若ハ違警罪」ヲ「罪」ニ改ム

〔罰金ノ刑ニ該ルヘキ輕罪若ハ違警罪〕ヲ「罰金、拘留又ハ科料ノ刑ニ該ルヘキ罪」ニ改ム

〔國務大臣男爵後藤新平君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵後藤新平君) 鐵道營業法中改正法律案ノ提出ノ理由ヲ申上ゲマス、此改正ハ數條ニ互ッテ居リマシテ、又一二新ラシク挿入シタル所ノ箇條モゴザイマス、要スルニ數條ニ互ル所ノ改正ハ刑法ノ改正ト共ニ此改正ヲ要スルニ至ッタ次第デアリマス、其他ハ鐵道營業上、既ニ多年ノ經驗ニ依リマシテ修正ヲ要スルモノヲ一二挿入イタシタ次第デアリマス、御審議ノ上、協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望イタシマス、尙ホ衆議院ニ於テ一二修正ノ箇條ガアリマスルガ、是ハ政府ニ於テモ同意ヲ表シテ居ル次第デアリマス

○議長(公爵德川家達君) 本案ノ特別委員ノ氏名ヲ書記官長ヲシテ朗讀イタサセマス

〔太田書記官長朗讀〕

- 鐵道營業法中改正法律案特別委員
- 伯爵中川 久任君 子爵堀田 正養君 子爵牧野 貞寧君
- 小牧 昌業君 男爵目賀田種太郎君 男爵長松 篤業君

石黒五十二君 澤原 俊雄君 下村辰右衛門君

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十、營業稅法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、久保田男爵

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

營業稅法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十三年三月十八日

右特別委員長

男爵 久保田 讓

貴族院議長公爵德川家達殿

〔男爵久保田讓君演壇ニ登ル〕

○男爵久保田讓君 唯今問題トナッテ居リマス所ノ營業稅法中改正法律案ノ委員會ノ經過ヲ御報道イタシマス、此營業稅法中改正案ハ一月十七日ニ政府カラシテ衆議院ニ提出ヲ致サレマシタ、三月十日ニ衆議院カラシテ貴族院ニ送付ニナリマシタ、貴族院ニ於テ十四日ニ委員ニ付託ニナリマシテ、十五日ニハ委員長副委員長ノ選舉ヲ致シテ、十六日十七日引續イテ委員會ヲ開キマシテ、政府ノ説明ヲ承リ、又委員ノ質問モ致シマシタ、十八日ニ又委員會ヲ開キマシテ、ソレト討論ヲ致シマシテ、總テ衆議院ノ修正通りニ可決ヲ致シマシタ、諸君ノ御手許ニ回ッテ居リマスル報告ノ通りデゴザイマス、抑、此營業稅法ノ改正案ハ本年政府カラシテ提出ニナリマシタ所ノ諸稅法ノ整理案中ノ一デアリマス、而シテ重要ノ部分ニ屬シテ居ル所ノモノデアリマシテ、即チ全國ノ商工業千種万別ノ營業一切ニ關係スル所ノ法律デアリマシテ、納稅ヲ致ス人員ヲ申セバ六十餘万人アリマス、租稅ノ額ガ二千五百餘萬圓ニナッテ居リマス、其關係スル所ハ頗ル廣ク、其利害ヲ感ズル者モ甚ダ多イデアリマス、ソレデ本問題ノ議會ニ提出サレマシタ以來、世間ニ於テ頗ル苦情ニアリマシテハ一月以來今日ニ至ルマデ相當ノ時日ヲ費ヤシテ反覆審議ヲ致サレテ此法案中餘ホド修正ニナリマシタノガ、茲ニ本院ニ送付ニナリマシタ案デアリマス、此原案ト修正案トノ違ヒハ如何ナル點デアアルカト云フコトノ極要點ヲ申上ゲヤウト思ヒマス、此營業稅ノ方ノ本案ノ骨子トナルモノハ課

税ノ標準、課税ノ率ト云フモノデアリマシテ、其標準中ニハ賣上代即チ收入、ソレカラ資本、建物ノ賃貸價格、從業者、此三ツノモノガ改正ノ標準ニナツテ居リマシテ、苟モ此營業稅ヲ増減ヲ致ストキニハ宜シク此標準ニ依テ稅率ヲ按排スルト云フコトガ必要ナコトニナツテ居リマス、然ルニ現在行ハレテ居ル所ノ非常特別稅法ト云フモノハ、御承知ノ如ク三十七年ニ戰爭ノ當時ニ於テ制定ニナリマシタモノデアリマシテ、ソレ等ノ課稅標準等ニ依テ調査スル所ノ十分ノ餘地ヲ存シマセナシテ爲ニ總テノ稅ニ十五割ヲ増加スルト云フコトニナツテ居リマス、即チ十五割ヲ増加スルコトニナツテ居リマス、從テ割合ニ小サイ營業者、小商業者ノ負擔ガ重イ結果ニナツテ居リマス、ソレ故ニ此度ノ政府ノ提出イタサレマシタ改正案ハ是等ノ負擔ヲ衡平均一ニスルト云フヤウナ趣意デアリマシテ、ソレノ修正ヲ致サレマシタ、ソレ故ニ此課稅ハ納稅者中ニハ稅率ノ下ガルモノモアリマス、中ニハ又稅率ノ高クナルモノモアリマス、サウ云フ修正ニナツテ居リマシテ悉ク減ルト云フ譯ニハナツテ居リマセヌ、併ナガラ此修正改正ノ結果トシテ凡ソ百五十萬圓ノ金額ヲ減ズルコトニナツテ居リマス、衆議院ノ修正ニ於キマシテハ政府ノ修正ノ趣意トハ大趣意ニ於テハ異ナル點モアリマセヌガ、修正ノ方法ニ於テハ大ニ異ツテ居ル所ガアリマス、衆議院ノ修正ニ依リマスレバ小サイ小商業者ニ減稅ニナルコトハ勿論、大キナル……大ナル營業者モ此度ノ改正ニ依ツテ増稅ニナルト云フモノハ一ツモ無イ、總テノ納稅者ニ多少ノ減少ヲ致スト云フコトノ趣意ニナツテ居ル、ソレ故ニ此修正ノ結果トシテ總テ幾分カノ稅ヲ減ズルト云フコトニナツタ、其總額ハ凡ソ二百萬圓ニナツテ居リマス、ソレデ今日ニ至リマシテハ最前申上ゲタ所ノ各般ノ苦情ガ格別聞ユルコトガ無イヤウニナリマシタノデアリマス、是ガ即チ課稅率ノ重モノナル改正ノ點デアリマス、其他第一條中ノ「船運業」、「土木請負業」ヲ削ルトカ、或ハ第三條中ノ「資本金額」ヲ「運轉資本金額」ニ改メル、第四條中ノ「器物、器械」ヲ「物品」ニ改メルト云フヤウナ箇條ガ大分アリマスルガ、是ハ格別説明ヲ申上ゲル必要モアルマイト思ヒマス、唯第十二條「營業者ヲ除クノ外從業者中十五歲未滿ノ者ニ付テハ前項稅率ノ二分ノ一トス」トゴザイマス、是ガ此度改正ヲセラレマシタノデ、是マデハ十五歲未滿ノ者デモ從業者モ同一ノ稅ヲ課シテ居リマシタノヲ、此度ハ半減ニ致シタト云フノガ政府ノ原案デアリマス、ソレカラ第十八條ノ建物賃貸價格ノコトハ政府デハ現行法ヲ悉ク總テ改メテアリ

マス、併ナガラ衆議院ハ之ヲ削除イタシテ現行ノ法ノ通り修正ヲ致シマシタ、第十九條中ノ但書ニ於テ「營業者ノ家族ヲ除ク」ト云フコトガ現行法デアリマシタノガ、ソレヲ政府ノ原案ニ於テ削除ヲ致シ、家族ト雖モ從業者トシ納稅者トスルト云フコトニナリマシタ、ソレヲ衆議院デハ削除イタシテ矢張り家族ハ除クト云フコトニナツタノデアリマス、ソレカラ是ハ政府ノ原案ニハゴザイマセヌガ、衆議院ニ於テ新ニ加ヘタ所ノ修正ハ第二十八條、是ハ唯今現行法ニ依レバ納稅ニ付イテ苦情ノアルトキニハ各稅務監督局ニ申出デマシテ、監督局ニ審査委員ガ設ケテアリマシテ、ソレデ裁決スルコトニナツテ居リマス、此度ノ衆議院ノ修正ニ於テハ其「各稅務監督局」ヲ「各稅務署」ト改メマシタ、稅務監督局ハ餘ホド其管轄區域ガ廣クテ一般ノ納稅者ガ其監督局ニ出テ苦情ヲ訴ヘルト云フコトガ頗ル不便ナモノデアアルニ依ツテ、各稅務署ニ審査委員ヲ置カレルヤウニシタイト云フコトガ修正ノ趣意デ、大略斯クナ趣意デアリマシテ、ソレデ大體ニ於キマシテハ先刻申上ゲル通りニ政府ノ案ハ此課稅標準ニ對スル各稅率ノ按排ヲ適當ニスルト云フコトデアツテ、營業者間ノ負擔ノ衡平ヲ失ツテ居ルモノヲ直スト云フ所ノ趣意デアリマス、衆議院ノ修正ニ於テモ其趣意ニ於テハ格別變ル所ハアリマセヌ、矢張り負擔ノ衡平ナラヌモノヲ直スト云フ所ノ趣意デアリマス、併シ其直シ方ノ方法ガ政府ノ案ト衆議院ノ案トハ違ツテ居リマシテ、政府案ハ此改正ニ際シテ成ルベク道理ニ適ツタ衡平ナ改正ヲシタイト云フ點デアリマスル故ニ、現在ヨリ稅ノ増スモノモアリ、減ルモノモアル、斯ウ云フ次第デアリマスガ、之ニ反シテ衆議院ニ於テ修正イタシタノハ、如何ナル場合ニ於テモ現行法ヨリハ稅ヲ増サヌト云フコトヲ基礎トシテ修正ヲ致シタノデアリマス、即チソコガ相違ヲ致ス點デアリマス、權衡ヲ圖ルト云フ精神ニ至ツテハ雙方格別ナ相違ハ無イノデアリマス、唯今申述べマシタ所ノ修正ニ付イテ詳細ニ調査イタセバ、ソレノ尙ホ修正意見ノ餘地モ無イコトハナイノデアリマスルガ、此修正案ハ大體ニ於テ不都合ナイト認メマシタ、政府モ亦此案ニ同意ヲ致シテ居リマス、加之今日ハ會期ノ時日モ切迫イタシテ居リマス、尙ホ其上ニ一院ニ於テ反覆審査ヲシテ決議イタサレタ案デモアリマスルカラ致シテ、貴族院ニ於キマシテハ此大體ヲ是認シテ細目ノ修正ハ企テヌ方ガ宜カラウト云フコトデ、全會一致ヲ以テ委員會ニ於テハ可決ノ決議ヲ致シマシタ、其他詳細ノコトヲ申上ゲマスレバ、餘ホド澤山アリマスルケレドモ、是ハ諸君ノ聰明ニ訴ヘテ

之ヲ略シマス、宜シク御判斷ヲ願ヒマス、委員會ノ報告ハ是デ終リマス

○議長(公爵徳川家達君) 別ニ發言モ無イヤウデアリマスカラ……

〔佐藤秀藏君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 何デスカ

○佐藤秀藏君 當局者ニチヨット伺ヒタイ

○議長(公爵徳川家達君) 質問デスカ、……宜シウゴザイマス

○佐藤秀藏君 唯今ノ營業税法ノ中ニ……委員長ノ報告デ略、承知イタシマシタガ、金銭貸付業並ニ物品貸付業ト云フノガアリマズルハ、是ハ個人ノ營業ニ關シタモノト考ヘマスガ……〔聴取シ難シ〕……是ハ個人ノ營業ニ對シテハ一番高イト云フノハ、是ハドウ云フ意味ノモノデゴザイマセウカ……〔聴取シ難シ〕……個人ノ事業ニ付キマシテハ、別段高イ率ニナッテ居ルヤウニ見受ケマスガ、其邊ニ付イテ、チヨット伺ヒテ置キタイ

〔政府委員若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(若槻禮次郎君) 唯今御尋ネニナリマシタノハ、現行ノ營業税ハ資本金ノ千分ノ五デアルガ、金銭貸付等ノ營業税ハ運轉資本金額ノ千分ノ六・五トナッテ居ッテ、千分ノ一・五ダケ多イガ、ソレハドウ云フ譯カト云フ御尋ネデアリマシタラウカ

〔佐藤秀藏君「左様デゴザイマス」ト述フ〕

ソレナラバ御答イタシマスガ、現行ノ方デハ資本金額ト云ヒマスノハ、運轉資本金額並ニ固定資本金額共ニ合シテ居リマス、之ニ反シテ金銭貸付業物品貸付業ハ、從來ハ運轉固定トモ資本金額ガ一樣デアリマスカラ、現行ト同ジ様ナ稅率デアリマシタケレドモ、此度ハ固定資本ハ除キマシテ、運轉資本金額ノミニ依ルコトニナリマシタ爲ニ、稅率ハ幾ラカ上ゲタ方ガ相當デアルト云フノデ、六・五ニ致シタノデアリマス、而シテ斯様イタシテ尙ホ現行ニ比ベマズルト、固定資本金額ヲ課稅標準ノ中カラ除キマスカラ、金銭貸付業者、物品貸付業者ハ、負擔ノ上ニ於テハ餘ホド輕減セラル、コトニナルノデアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 他ニ御發言モ無イヤウデアリマスカラ、採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○男爵久保田讓君 引續イテ第二讀會ヲ開カレムコトヲ……

○男爵武井守正君 賛成

○伊澤修二君 賛成

○谷森眞男君 賛成

○子爵板倉勝達君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開クト云フ久保田男爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シマス、……全部、特別委員長ノ報告ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○男爵久保田讓君 引續イテ第三讀會ヲ開カレムコトヲ……

○男爵中川與長君 賛成

○子爵板倉勝達君 賛成

○男爵辻新次君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス、第二讀會ノ決議通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十一、災害地租特別處分法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

災害地租特別處分法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十三年三月十八日

右特別委員長

伯爵 清棲 家教

貴族院議長公爵徳川家達殿

○仁尾惟茂君 唯今議題ニ上ボリマシタ災害地租特別處分法案ハ、尙ホ篤ト調査ヲ致シマシテ、熟考ヲ要シマヌル點ガアルト思ヒマスカラ、御延バシニナルヤウニ建議ヲ致シマス

○議長(公爵徳川家達君) 唯今問題ニナッテ居ル法案ノ議事ヲ延期シタイト云フ御希望デゴザイマスカ

○仁尾惟茂君 ハイ

○子爵三島彌太郎君 賛成ヲ致シマス、仁尾君ノ延期シタイト云フ動議ニ賛成ヲ致シマス

○男爵高木兼寛君 賛成イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 仁尾君ノ動議ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十二、明治四十一年法律第三十七號中改正法律案、第十三、罹災救助基金法中改正法律案、第十四、東京市區改正條例中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

〔報告書ハ議事速記録第十六號三二〇頁ニ載録セリ〕

〔男爵長松篤葉君演壇ニ登ル〕

○男爵長松篤葉君 諸君、本員ハ委員長柳澤伯ニ代ハリマシテ茲ニ登壇イタシマスルノ光榮ト存ジマス、是ヨリ明治四十一年法律第三十七號中改正法律案、罹災救助基金法中改正法律案、及東京市區改正條例中改正法律案ノ特別ノ委員會ニ於ケル議事ノ經過竝ニ結果ヲ報告イタシマス、此委員會ハ去ル十六日ニ正副委員長ノ互選ヲ行ヒマシテ、翌日引續イテ議事ニ入りマシテゴザイマス、此明治四十一年法律第三十七號中改正法律案ハ地方税制限ニ關シマスル改正デゴザイマシテ、地租、所得税、營業税ノ税率ニ伴ヒ、現行制限額ト同一ノ程度ヲ保タシムルノ目的ニ外ナラナイノデゴザイマス、即チ其第一條、第二條、第三條中ノ改正ノ如キ、即チソレガ爲デゴザイマス、又第三條及第五條ニ於テ各一項ヲ加ヘタル、第六條ノ削除、其他附則ニ於ケル本法

適用ノ期限等ハ、是亦必要上改正ニ伴フ結果ニ外ナラナイノデゴザイマス、此罹災救助基金法中改正法律案ハ、是亦地租、所得税、營業税ノ税率ノ改正ニ伴ヒマシテ、救助基金貯蓄ノ爲ニ賦課イタシマスル附加税ノ制限ヲ、現行制限額同一ノ程度ニ置クノ必要上改正ヲ要スルモノデゴザイマス、又東京市區改正條例中改正法律案ハ、是亦地租ノ税率改正ニ伴ヒマシテ、特別税地租割附加ノ制限ヲ、現行制限額ト同一ノ程度ニ置クノ必要上ノ改正デゴザイマス、以上三案ニ付キマシテハ、委員會ニ於キマシテ政府委員ノ説明ヲ求メマシテ、且ツ政府ニ於キマシテハ、衆議院ノ修正ニ同意ナルコトヲ確メマシテ、審議ノ上、全會一致ヲ以テ可決スベキモノト議決イタシマシテゴザイマス、此段御報告ヲ致シマス、數字ニ涉リマスコト、其他詳細ノコトニ付キマシテハ、ドウゾ政府委員ニ御質問ヲ願ヒタウゴザイマス、此段御報告ニ及ビマス

○議長(公爵徳川家達君) 唯今報告ノ濟ミマシタ三案トモ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○男爵長松篤葉君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望シマス

○男爵武井守正君 賛成

○男爵中川興長君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開キマス、三案全部ヲ問題ニ供シマス、副委員長報告通り御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○男爵長松篤葉君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望シマス

○男爵武井守正君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 三案トモ直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナシト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス、三案トモ第二讀會決議ノ通り御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナシト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十五、製鹽地整理ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、寺島伯爵

製鹽地整理ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十三年三月十七日

右特別委員長

伯爵 寺島誠一郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔伯爵寺島誠一郎君演壇ニ登ル〕

○伯爵寺島誠一郎君 是ヨリ御報告申上ゲマス、此製鹽地整理ニ關スル法律案特別委員會ハ三回開會イタシマシタ、第一、政府ヨリ此案ノ提出ノ理由、此案ノ説明、又衆議院ニ於テ致シマシタ修正ニ對スル所見ヲ聞イタノデアリマス、又鹽業ノ状態、鹽業政策等ニ付イテモ政府ノ信ズル所ヲ聞イタノデアリマス、進ンデ此案ノ全部ニ付キマシテ、又逐條ニ質問ヲ致シ、之ニ對スル政府ノ答辯ヲ得マシタ、而シテ委員會ニ於キマシテハ丁寧ニ、慎重ニ、審査ヲ致シマシタ結果、御手許ニ回ッテ居リマス報告通り議決イタシマシタ、之ヲ可決イタシマシタ重モナル理由ノ概略ヲ申上ゲマスレバ、第一、内地ニ於テ消費シテ居リマス所ノ鹽ノ高デゴザイマス、是ハ十億九千万斤ト云フコトデアリマス、而シテ内地ニ於ケル生産高ハ如何ホドデアアルカト申シマスルト、九億万斤ト十億万斤ノ間ニナッテ居リマス、勿論、年ノ豊凶ニ依ッテ多少生産高ノ違ヒハアリマスガ、先ヅ九億万斤ト十億万斤ノ間ニナッテ居リマス、デ、此消費高ト生産高ノ差額ハ、即チ七八千万斤ニナリマシテ、四五百万斤ハ外國ノ鹽ガ這入ッテ參リマスケレドモ、是ハ瑣細ナコトデゴザイマ

ス、デ、七八千万斤ノ鹽ハドコカラ入レルカト申シマスルト、臺灣竝ニ關東州ノ鹽ガ重モニ參ルノデゴザイマス、デ、是等ノ臺灣竝ニ關東州ノ鹽ハ内地産ノ鹽ト對比シマスルト、至ッテ粗雜ノモノデアリマシテ、且ツ價モ餘ホド廉クナッテ居ルモノデゴザイマス、是ガ即チ鹽ノ現在ノ状態デゴザイマス、トコロデ今日ヤッテ居リマス所ノ鹽專賣ヲ成ルベク完全ニ維持シテ行クト云フコト、又鹽ノ價ヲ段々ト低減シタイト云フ考ヘカラ、内地ニ於ケル需要ト、臺灣又ハ關東州ノ供給トノ關係ヲ能ク研究ヲ致シマシテ、今度此整理案ヲ提出サレタノデゴザイマス、ソレデ内地ニ於キマシテ生産費ノ餘計ニ掛リ、行政費ノ多額ヲ要スル所、及今後改良ノ見込ガ稍、乏シキヤウナ所ヲ廢メマシテ、即チ是等ノ製鹽地ヲ廢止シテ製鹽ヲ禁止スル、即チ之ヲ整理シテ而シテソレニ代ハルダケノ鹽ハ臺灣竝ニ關東州カラ入レルト云フノガ、此案ノ主眼トスル所デアリマス、而シテ其實際、鹽ノ量ハドノクラキニナルカト申シマスレバ、斯ク整理シタ曉ニハ臺灣竝ニ關東州カラ入レマスル鹽ハ約一億一千万斤デアリマス、此高イ所ノ鹽ノ生産ヲ廢メテ仕舞ッテ、廉イ所ノ臺灣、竝ニ關東州ノ鹽ヲ入レルト云フコトニナリマスルカラシテ、其差額ノ利益ト云フモノハ少ナカラヌデアリマス、是ハ約六十二万圓トナッテ居リマス、併シ此六十二万圓ノ中ニ鹽ノ價ノ爲ニ利益トシテ生ズルモノハ四十二万圓デアリマシテ、其他整理ヲ致シタ爲ニ行政上ノ節約ガ出來ル、其節約カラ生ズル所ノ利益ハ二十万圓ナデアリマス、合セテ六十二万圓、政府ハ此六十二万圓ヲドウ云フ方面ニ使フト申シマスルト、此六十二万圓ハ專賣ノ收益トシテ計上イタシマセヌデ、之ヲ以テ鹽ノ回送費ニ向ケルト申シテ居リマス、鹽ノ回送ニ向ケル爲ニ鹽價ニ於テ百斤ニ付キ九錢ノ低減ヲ爲シ得ルト申シテ居ルノデアリマス、是ガ第一デアリマス、第二ニサテ斯ノ如ク生産費ノカ、ル所、行政費ヲ多額ニ要スル所、而シテ將來改良ノ見込ノ付カヌ所ヲ整理スルト云フコトハ、誠ニ政策ノ上カラ良イコトデゴザイマス、併ナガラ政策ノ上カラ宜シイコトデハゴザイマスルケレドモ、整理ヲサル、所ノ製鹽業、又製鹽地ヲ持ッテ居リマス所ノ地主、而シテ其所ニ建テタル所ノ建物、又置イタル所ノ器械ト云フモノハ、之ガ爲ニ無駄ニナッテ仕舞フノデアッテ、甚ダ損害ヲ受ケルノデアリマス、併シ是ハ鹽業ノ政策ノ上カラ整理スルコトデアアルカラシテ、強チ是等ノモノニ對シテ賠償スルト云フコトハ強ヒテ必要デハナイノデアリマス、併ナガラ國家トシテ是等ノ損害ヲ無視シテ無償ニ、即チ償

ヒ無シニ打遣ッテ置クト云フコトハ甚ダ穩當ヲ缺クト思ハレル所カラシテ、政府ハ三百四十万圓ト云フモノヲ交付金トシテ賠償ヲスル爲ニ備ヘテ居ルノデアリマス、此三百四十万圓ト云フ高ニ對シテハ衆議院デ修正ヲ加ヘマシテ二十万圓ヲ削ッタノデゴザイマス、此二十万圓ハドコカラソレデハ出テ來タカト申シマスルト、初メ政府ガ計上イタシマシタ三百四十万圓ト云フノガ既ニ四五万圓ハ餘計ニナツテ居ルノデ、勘定ヲキチントスル爲ニ三百三十五万圓デ濟ムモノヲ三百四十万圓トシテアツタ、ソレカラ生ズル四五万圓ト、又器械製鹽所二箇所ニ對シマシテ整理ヲスル考ヘデアツタ爲ニ、十六万圓ホドノモノガアリマス、此十六万圓ヲ削ルト云フコトヲ衆議院ガ言ヒ出シテ來タノデアリマス、勿論衆議院ノ方デ此場所ヲ整理スルコトヲ廢メルト言ヒ出シタノハ、場所ニ對シテ言ッタノデハナイ、交付金ノ額ヲ成ルベク節減シタイト云フ所カラ減ズルト云フコトヲ言ヒ出シタノデアリマス、併ナガラ其十六万圓ヲ節減スルト云フコトニ付イテハ、政府ハ斯ウ云フ器械製鹽所ニハ試驗のニヤツテ居ルノダカラシテ、先ヅ廢メテモ宜カラウト云フクラキデ之ニ同意ヲ致シテ居ルト云フノデゴザイマス、デ是ハ我々モ研究イタシテ見マシタ所ガ、先ヅ差支ハ無カラウト云フノデ此儘ニシテ置キマシタ、是ガ第二デ……ソレカラ第三ニハ第七條ノ修正デゴザイマス、第七條ノ修正ト申シマスルト「前二條ノ決定ニ對シ不服アル者ハ十日以内ニ其ノ申立ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ政府ハ更ニ鑑定人ヲ選定シ其ノ意見ヲ徵シ之ヲ裁定ス」トアリマス、之ニ附加ヘタノガ衆議院ノ修正デアリマス、ソレハ「其ノ裁定ニ不服アルトキハ行政訴訟ヲ爲スコトヲ得」ト附加ヘタノデアリマス、此修正ニ對シマシテ政府ノ意見ヲ尋ネマシタ所ガ、法制上斯ノ如キコトヲ規定スルノハ甚ダ面白クナイコトデアアル、併ナガラ地價修正案ニモ既ニ斯ウ云フヤウナ規定ヲ差加ヘタコトデアアルカラシテ、強ヒテ不同意ハ言ハヌト、斯ウ申シテ居リマス、又委員會ニ於テ我々研究イタシマシテ此整理案施行上サホド差支モ無イト云フコトヲ見マシテ我々モ同意イタシマシタ、併シ此所デ一言イタシテ置キマスルノハ、法律ニ精通セラル、所ノ或ル一員カラシテ、是ハ此所ニ入レテ置クコトハ相成ラヌ、行政訴訟ト云フコトヲ……恩惠的ノ交付金ノ割當ニ不服ガアル、ソレダカラ行政訴訟ヲ許スト云フコトハ甚ダ宜シクナイコトデアアル、前例ガ假令アツタニモセヨ、其惡ルイ例ニ從フニ及バヌデハナイカ、行政訴訟ト云フモノハ成ルベク範圍ヲ狭クシテ其所ニ限ッテ

アルモノデアアルカラ、是ハ取除キタイト云フ立派ナ御意見デアリマス、此御意見ガ出タノデゴザイマス、委員會ニ列席サレタ所ノ多數ノ諸君ハ之ニ對シテ深い同情ヲ有タレタノデアリマス、併ナガラ悲シイカナ之ニ對シテハ同意ハサレナカッタノデゴザイマス、チヨット玆ニ之ヲ附加ヘテ申シテ置キマス、斯ノ如ク委員會ニ於キマシテハ、是ダケノ理由ヲ以テマシテ全部、衆議院修正通リ原案ヲ可決スベキモノナリト議決イタシタ次第デゴザイマス、又チヨット附加ヘテ申上ゲマスルガ、委員會ニ於キマシテハ鹽業政策ニ對シテ希望ヲ述ベラレタ御方ガゴザイマシタ、其希望ヲ私ガ玆ニ於テ再ビ繰返シテ申上ゲルコトハ私ノ義務ト信ジマスルカラ、ソレヲ申シマス、デ此製鹽地整理ト云フコトヲ施行スルニ付イテハ、政府ニ於テハ十分此法案ノ許ス範圍ニ於テ慎重ナル調査ヲシテ、公平ニ、又鹽專賣ノ目的ヲ達スルヤウニ、鹽ノ價ノ制限ヲ爲シ得ルヤウニ、十分ニ氣ヲ付ケテ慎重ニヤツテ貫ヒタイト云フコトガ一つト、ソレカラ今日ノ場合、整理ヲスルニ付キマシテモ、マダ不利益ナ場所モ無イデハナイ、生産費ノ餘計カ、ル、行政費ノカ、ルヤウナ所モ無イコトデナイ、併ナガラ是等ニ手ヲ著ケルト云フコトハ、内地ノ需要高、臺灣關東州ノ供給ノ出來得ル力等ノ關係カラシテ、唯今ノ所デ整理スルコトハ出來スト云フノハ甚ダ残念ナコトデアアル、併ナガラ將來ニ於テ製鹽ノ仕方ガ改良サレ、鹽ノ價モ追々廉クナリ、又交通機關モ發達シテ、ソレガ爲ニイロノ良イ影響ヲ受ケルト云フ場合ニ至ッテモ、尙ホ不利益ナル製鹽ヲ爲スヤウナ場所ガ在ッタナラバ、十分政府ハ之ヲ調査シテ再ビ整理ヲスルト云フ決心ヲ以テ、鹽ノ專賣ト云フ目的ヲ十分ニ達シ、鹽ノ値段ノ低減ト云フコトヲ始終圖ルヤウニシテ貫ヒタイト云フ希望デゴザイマシタ、チヨット申添ヘテ置キマス

○田中芳男君 此際チヨット政府委員ニ御尋ネ致シタウゴザイマスガ、此法ガ制定ニナリマスレバ、全國ノ鹽業ニ付イテハ大變ナ都合ノ好イコトニナルデアラウト思ヒマスガ、本員ガ請願ヲ取扱ッテ居リマス上ヨリ請願書デ見マスト、今日マデノ鹽業者ガ以後ハ鹽ヲ製スルコトガ出來ナクナツテ來ル、然ルニ私ノ土地ト云フモノハ鹽ヲ拵ヘルヨリ外ニ生活ノ途ノ無イ所デアアル、ソレガ鹽ヲ拵ヘテナラヌトナツタ以上ハ、他ニ營業ノ途ガ無イ、殆ドドウシテ宜シイカ路頭ニ迷フト云フヤウナ、如何ニモ哀レナ請願ガ出テ居リマスガ、ソレ等ノ如キ者ハ無論此方法ニ依ッテ然ルベク處理セラル、コトデアラ

ウトハ思ヒマスガ、全ク其土地ヲ失ッテ、其所デ營業ノ出來ナイト云フ者ハ、或ハ北海道ニ移ストカ、臺灣ヘ移ストカ云フ御世話マデ燒クノデアリマスカ、ソレハ交付金ヲヤッタラバ跡ハ勝手ニシロト斯ウ云フコトデアリマスカ、聊カ其邊ノ所ヲ伺ッテ置キタイト考ヘマス

〔政府委員若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(若槻禮次郎君) 製鹽地整理ニ依リマシテ製鹽ヲ禁止シマスヤウナ地方ハ元來ニ於テ鹽ノ生産ニ甚ダ不適當ナ土地ガ多イノデアリマス、ソレデ若シ專賣法ガゴザイマセヌケレバ早晚、製鹽ノ方ハ廢メナケレバムヅカシイヤウナ地方ガ多ク今度整理ノ區域ニナリマス、而シテ今日ノ鹽專賣法ニ於テ申シマス、政府ハ何時ト雖モ製鹽地ノ制限ヲスルコトガ出來テ、而シテソレニ對シテハ無償デ禁止スルコトガ出來ルヤウニナッテ居リマスガ、法規ハサウデアリマスケレドモ、如何ニモ鹽ヲ製造イタシマスルヤウナ場所ハ他ニ利用スルコトガ其他ノ土地ノ如ク容易デゴザイマセヌ故ニ、此度茲ニ法律案ヲ提出シテ、禁止スル場合ニ於テハ相當ノ賠償ヲ與ヘル、土地ニ向ッテハ其土地ヲ他ニ利用スル……製鹽ニ供シテ居ルノト廢メタトキトノ値段ノ差額ヲ給シマシテ、或ハ現在ノ製鹽者ニハ轉業ノ資金ヲ給スルト云フ工合ニ、唯今御覽ニナリマシテ法規ニ定メテアルノデアリマス、是ガ斯ウ云フ場合ニ處スル救濟方法、賠償方法トシテハ一番多イ方法デアラウト思ヒマスノデ、之ヲ與ヘマシタ以上、其他ニ尙ホ更ニ他ノ費用ヲ給シテ此人ヲ他ヘ移スト云フコトヲヤルカト云フコトデアリマスレバ、ソレハ致サヌノデアリマス、但シ今日製鹽ヲ禁止セラレマス場合ニ於テ、此救濟ヲ致シタ以上ニ賠償シナカッタナラバ直チニ路頭ニ迷フヤウナ所ガアルカト云フト、政府デハサウマデハ見テ居リマセヌ、北海道ヘ移ストカ、臺灣ヘ移ストカ、サウ云フ極端ナ救濟方法ヲ施シマセヌデモ、此法規ニ認メテアルダケノ賠償ヲ與ヘマスレバ、ソレデ救濟ハ盡キテ居ルト、斯ウ考ヘテ居リマス

○村田保君 此案ハ條數モゴザイマスガ、別ニ御質問モアリマセヌト思ヒマカラ、讀會ヲ省略セラレムコトヲ希望イタシマス

○伯爵寺島誠一郎君 讀會省略賛成

○伯爵德川達孝君 賛成

○伯爵柳澤保惠君 賛成

○伯爵大原重朝君 賛成

○子爵堤功長君 賛成

○伯爵萬里小路通房君 賛成

○子爵山口弘達君 賛成

○男爵諫早家崇君 賛成

○男爵長松篤葉君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 村田君ノ讀會省略ノ動議ニハ定規ノ賛成者ガゴザイマシタ、村田君ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 本案、特別委員長ノ報告通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十六、漁業法改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、德川伯爵

漁業法改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十三年三月十八日

右特別委員長

伯爵 德川 達孝

〔伯爵德川達孝君演壇ニ登ル〕

貴族院議長公爵德川家達殿

○伯爵德川達孝君 漁業法改正法律案ノ委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報道申上ゲマス、此委員會ハ二回ホド開キマシテ、慎重ニ審議イタシマシタ、政府委員ヨリ本案改正ノ理由ヲ詳細ニ述べラレマシタコトデゴザイマス、其大要ハ是マデ漁業權ト云フモノヲ物權ニシテ居ラナカッタ所ガ、漁業資金ノ融通ノ途ヲ開イテ益、漁業ヲ獎勵スル爲ニ抵當權、先取特權ノ目的トスルト云フコトガ一ツ、第二ニハ漁業權ト同様ニ入漁權ニ關スル規定ヲ設ケル、第三ハ漁

業組合ノ目的及施設ノ範圍ヲ擴ムル爲ニ漁業組合ノ聯合會ト云フモノヲ設ケルト云フコトデ、第四ニハ漁業上ノ利便ヲ圖リ、又漁業上ノ取締ノ必要上カラシテ此法律ヲ改正シ、又新ニ規定ヲ設クルト云フヤウナ、大體ハ四ツノ目的カラシテ本案ヲ改正スル譯デアルト云フコトデアリマス、尙又各條ニ付キマシテ政府委員カラ詳細ナ説明モゴザイマシタ、是ハ第一カラ第十二點マデノ箇條ガゴザイマシテ、餘ホド複雑デゴザイマスカラ、委細ハ速記録ヲ御承知置キテ願ヒタウゴザイマス、サテ質問ニ移リマシタ所ガ、イロ／＼ノ質問ガゴザイマシタ、意見、竝ニ希望ヲ述ベラレタ委員ノ中デ、大キニ茲ニ御報告ヲ申ス必要モゴザイマスカラシテ之ヲチヨット申述ベマス、改正法律案ノ第二十五條ニ於テ「錯誤ニ依リ漁業免許ヲ與ヘタルトキハ行政官廳ハ之ヲ取消スコトヲ得」此錯誤ト云フコトハ即チ政府ニ於テ誤ッテ漁業ノ免許ヲ與ヘタルノデ、サウ云フトキニ、行政官廳ト云ヘバ即チ地方廳モ行政官廳デアリ、農商務省モ行政官廳デアルカラ、地方廳グラキデ、是ハ誤ッタカラト云フノデ直グニ取消スト云フヤウナコトガアツテハ、折角漁業權ガ物權トナツテ抵當權トナツタノニ、是ハ錯誤デアルト云フヤウナコトデ容易ニ取消サレルヤウナコトガアツテハ、勸業銀行、農工銀行、其他ノ銀行ニ於テ資金ヲ貸スコトガ出來ナイカラ、斯ウ云フ法案ノ如キコトガアツテハ誠ニ不當デアルト云フ質問デゴザイマシタ、其時政府委員ノ答ニ、御尋ネノ點ハ御尤モデアアル、併ナガラ斯ウ云フコトニ付イテハ最モ鄭重ニシテ農商務大臣ノ許可ヲ得ナケレバ取消ヲシナイト云フコトデアリマシタ、其時、委員ノ申サル、ニハ、サウ云フコトニナルナラバ、ソレデ宜シイガ、尙ホ施行細則ニサウ云フコトヲ書イテ置イテ、錯誤ダカラト言ッテモ折角得タ漁業ノ免許ヲ成ルタケ取消スコトノ無イヤウニシタイト云フ希望ヲ述ベラレマシタ、其次ハ第二十六條、是ニハ「免許漁業原簿ノ登録ハ登記ニ代ハルモノトス」ト云フコトガアル、之ニ付イテモ質問ガゴザイマシテ、是デハ漁業權ヲ得タ者ダケガ原簿ニ登録スルコトニナツテ、入漁權ヲ得タ者ノコトハ無イガドウデアアルカト云フ質問ガゴザイマシタ、其時ニ漁業權ノ事柄ニ付イテハ施行細則ニ載セルガ宜カラウト云フヤウナ應答デゴザイマシタ、其次ハ四十一條ノ海軍艦艇乘組將校、其他ハ警察官デスガ、サウ云フモノガ漁業監督ノ爲ニ必要ト認ムルトキニハ船舶、店舖其他ノ場所ニ臨檢シテ帳簿物件ヲ検査スルコトガ出來ル、次ノ項ニ「前項ノ臨檢ニ際シ漁業ニ關スル犯罪アリト認ムルトキハ搜索ヲ爲シ又ハ

犯罪ノ事實ヲ證明スヘキ物件ノ差押ヲ爲スコトヲ得」斯ウ云フコトガアル、ソレデ一委員ノ申スニハ、警察官吏トカ港務官吏トカ稅關官吏トカ云フ者ガ漁業監督ノ爲ニ船舶、店舖ノ帳簿物件ヲ検査スルコトハ無論必要デアラウ、又海軍艦艇乘組將校モ臨檢スルコトハ決シテ惡ルイコトデハナイガ、ドウモ一體斯ウ云フ漁業ト云フコトニ付イテ趣味ヲ有ッテ居ラヌ人デアルト、折角臨檢ヲシテモ……海軍ニ於テ即チ「トロール」ヲ以テ捕ルト云フヤウナトキニ、臨檢スルノガ目的デアリナガラ、其漁業ノ妨ケヲ起サウナコトガアリハセヌカ、ソレニ漁夫ナド、云フ者ハ隨分氣ノ荒イ者ドモデアルカラ、如何ニ法律ニ依ッテ臨檢スルコトガアツテモ氣ノ立ツタトキニハ爭ガ出來ル、又臨檢シテモ目的ヲ達セズ却ッテ折角ノ漁業ノ妨ケヲ爲ス、此邊ニ付イテハサウ云フコトノ無イヤウニシテ貫ヒタイト云フ希望ヲ述ベラレタ、先ツ質問竝ニ希望ヲ述ベラレタ點ハ其クラキナモノデアリマス、ツヒ申シ落シマシタガ、衆議院ニ於テ大分是ニハ修正ガゴザイマス、ソレニ付イテ政府ノ意向ハ如何カト尋ネマシタ所ガ、多クハ字句ノ修正、中ニハ字句デナイ修正モアリマシテ、是ハ政府ニ於テハ敢テ不同意ヲ唱ヘズ、是デ宜シイト云フコトデアリマシテ、委員會ニ於キマシテハ討論ニ移リマシテ、一委員カラシテ大體ニ付イテ述ベラレマシタガ、其趣意ハ本案ノ大體ニ付イテハ無論同意デアアル、併シ此改正ニナツテ居ル法文ノ一々ニ付イテハ不同意ノ點モアルガ、其不同意ノ點ハ忍ンデ、モウ會期モ盡キルニ垂ントスル所デアルカラシテ、唯其法文ニ付イテ大目ニ見テ、大體ニ付イテ賛成シテ同意ヲ表ス、斯ウ云フコトデアリマシタ、其他ニハ格別議論モゴザイマセヌデ全會一致ヲ以チマシテ本案ヲ可決スルコトニ確定イタシマシタ、右御報告申上ゲマス

○議長(公爵徳川家達君) 採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○男爵中川興長君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望シマス

○伯爵大原重朝君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ヲ開キマス、本案全部ヲ問題ニ供シマス、全部、特別委員長ノ報告通り御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○男爵中川興長君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望シマス

○伯爵大原重朝君 賛成

〔「其他」賛成「ト呼フ者アリ」〕

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス、第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十七、銃砲火藥類取締法改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、相浦男爵

銃砲火藥類取締法改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十三年三月十八日

右特別委員長

男爵 相浦 紀道

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔男爵相浦紀道君演壇ニ登ル〕

○男爵相浦紀道君 唯今議題ニ上ボツテ居リマス銃砲火藥取締法改正法律案ノ委員會ノ經過及結果ヲ御報告申シマス、委員會ハ去ル十六日ト十八日ノ二回開會ヲ致シマシタ、政府委員ノ説明モアリ、委員諸君ノ各條ニ就キマシテ質問モアリ、又政府委員ハ陸軍砲兵大尉鈴木吉一氏ヲ同伴シ、火藥等ノ技

術上ニ係ル説明ヲ致サセタイニ依ツテ委員長ノ許可ヲ請ハレマシタ、是ハ先例モアリマスルコトユエ許可イタシマシタ、ソレヨリ政府委員ト砲兵大尉ハ辯明ヲ致サレ、或ハ説明モ致サレマシタ、右終リマシテ原案通り可決スベキモノト確定ニナリマシタ、サテ改正ノ理由ヲ簡單ニ申スト、此現行法律ハ明治三十二年ニ定メラレテアリマスルモノデゴザイマス、以來經驗ニ徴シマスルト規定ノ不備ナ點モアリ、或ハ又當業者ノ利害ヲ考ヘ改正ヲ要スル考ヘデアリ、又學術ノ進歩ノ結果、又一ツハ刑法改正ノコトカラシテ現行法律ハ改正ノ必要アリテ此案ヲ提出サレマシタト云フ理由デゴザイマス、右御報告申上ゲマス、此案ハ最モ必要ナ案ト考ヘマスカラ速ニ御決議アラムコトヲ希望イタシマス

○男爵石黒忠憲君 單簡ニ質問ヲ致シマス、此銃砲ト申シマス區域ハ、ドウ云フモノヲ區域ト致シマスカ、銃砲ナル二字ノ中ニ含まレテ居リマスモノ、説明ヲチヨツト伺ヒタウゴザイマス、ソレカラ火藥ト云フ二字ハドノ様ナモノヲ火藥ト申シマスカ、銃砲ト云フモノ、區域ト火藥ト云フモノ、區域ヲ單簡ニ承リタウゴザイマス

〔政府委員一木喜徳郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(一木喜徳郎君) 御質問ニ御答ヲ致シマスルガ、銃砲ノ定義ハ此度ノ法律ニ掲ゲマセズシテ勅令デ定メルコトニ致シテ居リマス、其勅令デ規定スルニ付イテ如何ナルモノヲ銃砲トスルカト云フコトハ唯今確ニ申上ゲルコトハ出来マセヌケレドモ、是マデ既ニ定マツテ居ルモノモゴザイマスシ、ソレ等ヲ標準ト致シ、尙ホ修正ヲ要スル點ハ修正ヲ致シテ、サウシテ定メマス考ヘデアリマス、大體區別イタシマスレバ、軍用銃砲、非軍用銃砲ニナリマセウガ、其軍用銃砲トハ如何ナルモノヲ云フカト申シマス、從來陸海軍大臣ガ之ヲ告示スルコトニナツテ居リマス、此度ハ命令ヲ以テ之ヲ規定スルコトニナリマシタ、ソレカラ火藥類ハ是ハ此中ニハ火藥、爆藥、火工品ト云フ三ツノモノヲ含ンデ居ルノデアリマスガ、其定義ニ至リマス、餘ホド學術的、技術的ノモノデアリマシテ、玆ニ讀上ゲマスノハ甚ダ煩ハシイコトデアリマスカラ、其細カイコトハ略シマスガ、大體ニ於キマシテ火藥ト爆藥ト火工品ヲ含ムノデアアル、斯様御承知ヲ願ヒタウゴザイマス

○男爵石黒忠憲君 尙ホ續イテ伺ヒマスガ、サウ致シマス、此銃砲ナル名稱ノ中ニハ、先ヅ物ヲ飛バシマス、銃砲モ同様デゴザイマスケレドモ、此

物ヲ飛バシマスト云フコトニ付キマシテハ一體物質ノ膨張イタシマスヨリ生
ジマスノガ、マア概論ト存ジマスガ、此中ニハ空氣ヲ壓榨シテ而シテ飛バス
モノ、若クハ液體ヲ壓榨シテ飛バスト云フモノモ、此銃砲ト云フ中ニ含マレ
テ居リマスカ、含マレテ居リマセヌカ、承リタウゴザイマス

〔政府委員一木喜徳郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(一木喜徳郎君) 空氣銃ハ此銃砲ノ中ニハ含ミマセヌ

○男爵石黒忠恵君 液體ノハ、ドウデゴザイマスカ

○政府委員(一木喜徳郎君) ソレモ含ミマセヌ

○男爵石黒忠恵君 モウ一ツ承リタウゴザイマスノハ、不幸ニシテ委員會モ
傍聴イタシマセヌシ、速記録モ見マセヌデゴザイマスガ、行政官廳ト云フ此

「行政官廳」ハ何省ト何省ヲ含ミマスモノデアリマスカ

〔政府委員一木喜徳郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(一木喜徳郎君) 此「行政官廳」トゴザイマスノハ總テ近年ノ法令
ニ於キマシテハ其所管ハ勅令ヲ以テ官制ノ上デ定メルコトニナツテ居リマス

ノデ、法律ノ上デ、ドノ官廳ト云フコトハ定メマセヌノデゴザイマスガ、事
實、警察ノ事務ヲ主管スル所ノ官廳ガ此場合ニ於キマシテハ行政官廳ニナリ
マス、即チ主トシテ地方官廳デゴザイマス

○男爵石黒忠恵君 海陸軍ハ之ニ含マレテハ居リマセヌカ

○政府委員(一木喜徳郎君) ソレハ「行政官廳」ト云フ文字ヲ使ツテ居リマス
箇條ニ依ツテ違ヒマス、海陸軍モ合シテ居ル、海陸軍ヲ指シテ行政官廳ト申

シテ居ル箇條モアルノデアリマス、例ヘバ、此第一條、第二條等ニ於キマシ
テ「行政官廳」ト稱シテ居リマスノハ陸海軍省ヲ合シテ居リマス場合モアリマ
スシ、各箇條ニ依ツテ其所管ノ官廳ガ違ヒマス、ソレ等ノコトハ總テ官制上
ノ權限ニ依ツテ定マルノデゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトス
ル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○馬屋原二郎君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵伊集院兼知君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕
○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シマ
ス、全部、特別委員長ノ報告通リテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○馬屋原二郎君 續イテ第三讀會ヲ……

○伯爵大原重朝君 賛成

○子爵伊集院兼知君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕
○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第三讀會ヲ開キマス、第二讀會ノ決議通リテ御異
存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十八、獸疫豫防法中改正法律案、衆議
院提出、第一讀會

〔仙石書記官朗讀〕

獸疫豫防法中改正法律案

右本院提出案及送付候也

明治四十三年三月十七日

衆議院議長 長谷場 純孝

貴族院議長 公爵徳川家達殿

獸疫豫防法中左ノ通改正ス

第十條第一項第四號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

五 乳汁ノ發賣ヲ禁止シタルトキ

評價額三分ノ二

同條第二項ヲ左ノ如ク改ム

手當金額ハ第一ノ場合ニ於テハ一頭九十圓、第二ノ場合ニ於テハ一頭二百圓、第三ノ場合ニ於テハ一頭五百圓、第四ノ場合ニ於テハ總計五十圓、第五ノ場合ニ於テハ一頭三十圓ヲ超過スルコトヲ得ス

○議長(公爵徳川家達君) 本案特別委員ノ氏名ヲ書記官長ヲシテ朗讀イタサセマス

〔太田書記官朗讀〕

獸疫豫防法中改正法律案特別委員

- 子爵鍋島 直彬君 子爵戸田 忠行君 子爵京極 高德君
- 大澤 謙二君 男爵小野 尊光君 男爵辻 健介君
- 男爵諫早 家崇君 佐藤 秀藏君 松村 時次君

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十九、軍人恩給法中改正法律案、第二十、官吏恩給法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

〔仙石書記官朗讀〕

軍人恩給法中改正法律案

右本院提出案及送付候也

明治四十三年三月十七日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長 長谷場 純孝

軍人恩給法中左ノ通改正ス

第二十六條及第二十九條第三號中「三個年內」ヲ「七個年內」ニ改ム

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

官吏恩給法中改正法律案

右本院提出案及送付候也

明治四十三年三月十七日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長 長谷場 純孝

官吏恩給法中左ノ通改正ス

第十六條中「三個年內」ヲ「七個年內」ニ改ム

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○伯爵松平頼壽君 日程第十九ト第二十ト政府ノ御意向ヲ伺ヒタウゴザイマス

〔政府委員安廣伴一郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(安廣伴一郎君) 此法案ハ現行ノ恩給、竝ニ遺族扶助料ノ支給期間ガ三年トゴザイマスノヲ七年ト延バシマスノデアリマス、三年デハ偶、其期間ヲ過ゴシマシテ遂ニ權利ヲ失フ者ガアリマスニ依ッテ七年ニ延バシタイト云フ案デゴザイマシテ、別段之ニ付キマシテ差支ゴザイマセヌカラ政府ハ賛成ヲ致シマス、但シ官吏恩給法中ノ方ニハ遺族扶助料ガ落シテアリマシテ、是ハ別ナ法律ニナツテ居リマスカラ規定イタシテアリマセヌ、軍人恩給法中ノ方ハ恩給竝ニ遺族扶助ノ方ト兩方トモ這入ッテ居リマス

○議長(公爵徳川家達君) 諸君ニ御諮リ致シマス、第十九、第二十、兩案トモ同一委員ニ付託イタシテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、特別委員ノ氏名ヲ書記官長ヲシテ朗讀イタサセマス

〔太田書記官朗讀〕

軍人恩給法中改正法律案外一件特別委員

- 子爵山口 弘達君 男爵赤松 則良君 男爵野田 豁通君
- 男爵高千穂 宣麿君 男爵新田 忠純君 男爵外松 孫太郎君
- 磯邊 包義君 秋月 新太郎君 櫻木嘉右衛門君

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第二十一、裁判所構成法中改正法律案、第二十二、辯護士法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

〔仙石書記官朗讀〕

裁判所構成法中改正法律案

右本院提出案及送付候也

明治四十三年三月十七日

衆議院議長 長谷場純孝

午前十一時四十三分散會

貴族院議長公爵徳川家達殿

裁判所構成法中左ノ通改正ス

第六十五條第二項中「帝國大學法科卒業生」ノ下ニ「及専門學校令ニ依ル公立又ハ私立ノ學校ニ於テ豫科ヲ履修シタル後三學年以上法律學科ヲ修メ卒業證書ヲ有スル者」ヲ加フ

辯護士法中改正法律案

右本院提出案及送付候也

明治四十三年三月十七日

衆議院議長 長谷場純孝

貴族院議長公爵徳川家達殿

辯護士法中左ノ通改正ス

第四條第二號中「司法省舊法學校正則部卒業生」ノ下ニ「専門學校令ニ依ル公立又ハ私立ノ學校ニ於テ豫科ヲ履修シタル後三學年以上法律學科ヲ修メ卒業證書ヲ有スル者」ヲ加フ

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第二十一、第二十二、兩案トモ同一委員
デ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、特別委員ノ氏名ヲ書記官
長ヲシテ朗讀イタサセマス

〔太田書記官朗讀〕

裁判所構成法中改正法律案外一件特別委員

子爵藤井 行徳君 子爵新莊 直陳君 子爵本莊 宗義君
男爵關 義 臣君 奥山 政敬君 古莊 嘉門君

兒玉 淳一郎君 岡谷 惣助君 杉下太郎右衛門君

○議長(公爵徳川家達君) 次ノ議事日程ハ本院彙報ヲ以テ御通知ヲ致シマス、本日ハ是デ散會ヲ致シマス